

令和8年度 第73回 高体連函館支部柔道春季大会
開 催 要 項

- 1 主 催 北海道高等学校体育連盟函館支部
- 2 後 援 函館柔道連盟
- 3 当 番 校 北海道高等学校体育連盟函館支部柔道専門部
- 4 期 日 令和8年4月25日(土)
- 5 会 場 函館ラ・サール高等学校 柔道場
(函館市日吉町 1-12-1 Tel0138-52-0365)
- 6 日 程 4月25日(土)
9:30 開場・受付
9:40 体重計量(男子・女子)
10:00 専門委員会、監督・主将会議、顧問・審判会議
10:10 **新ルール講習会**
11:00 開会式
11:10 団体戦(男子・女子)・個人戦(男子・女子)
15:30 表彰式・閉会式・会場清拭
- 7 試合規定 **国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)**による
 - (1) 団体試合
 - ① 試合時間は3分とする
 - ② 団体試合の判定基準は「有効」または「僅差」(指導差2)以上とする
 - ③ チームの得点内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦においてポイントの差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決定する
 - ④ 代表戦において両試合者が「累積による同時反則負け」の場合、延長戦により勝敗を決定する

(2) 個人試合

①試合時間は3分とする

②個人試合の判定基準は「有効」または「僅差」(指導差2)以上とする

③両試合者の技の評価が同等及び指導差1以内の場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決定する。延長戦は「有効」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する

- 8 試合方法
- 男子団体戦：5人制の点取り試合で、参加チーム数により専門部により決定する
女子団体戦：3人制の点取り試合で、参加チーム数により専門部により決定する
男子個人戦：60 kg級、66 kg級、73 kg級、81 kg級、90 kg級、100 kg級、100 超級の7階級でのエントリーで、参加人数により試合階級を専門部で決定する
女子個人戦：48 kg級、52 kg級、57 kg級、63 kg級、70 kg級、78 kg級、78 超級の7階級でのエントリーで、参加人数により試合階級を専門部で決定する
- 9 チーム編成
- 男子団体戦：監督1名、選手5名、補欠1名、主務1名の計8名とする
※正選手3名以上でのエントリーを認める
女子団体戦：監督1名、選手3名、補欠1名、主務1名の計6名とする
※正選手2名以上でのエントリーを認める
- 10 参加資格
- ①選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校を含む)に在籍する生徒であること。また新1年生の出場については事故防止の面から十分に配慮すること
- ②上記に所属する生徒で平成19年4月2日以降に生まれた者(令和8年4月2日現在で19歳未満の者。ただし同一大会・競技の出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする)
- ③高体連主催大会災害補償制度に加入している者。また加入意思のある者
- ④令和8年度(財)全日本柔道連盟に登録を完了した者。または加入意思のある者
- ⑤定時制課程においても上記の①②③④と同じ扱いとする
- ⑥チームの編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成チームは認めない
- ⑦高等専門学校・専修学校及び各種学校においては学齢・修行年齢ともに高等学校と一致していること。また連携校との混成チームは認めない
- ⑧転校後6ヶ月未満の者は出場することができない。ただし一家転住などの場合は北海道高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない

- 1.1 組み合わせ 4月21日(火) 16時より会場校において専門委員立ち合いの上、抽選により決定する
- 1.2 参加申込 函館大谷高等学校HP「柔道春季大会申し込み書」をダウンロードして4月20日(月)までにメールで送る。同時に学校印の押された用紙を下記に郵送する。参加料は大会当日に納入すること

〒041-0852 函館市鍛冶1丁目2番3号
函館大谷高等学校内 柔道大会事務局 清水 猛 宛
shimizu@hakodate-otani-h.ed.jp

- 1.3 申込期日 令和8年4月20日(月) 必着(電話・FAXでの申し込みは不可)
- 1.4 参加料 男子団体戦 5,000円 女子団体戦 3,000円 男女個人戦 1人1,000円
- 1.5 脳震盪対応について(選手及び指導者は下記事項を遵守すること)
- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診療を受け出場の許可を得ること
 - (2) 大会中脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする
なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること
 - (3) 練習再開に際しては脳神経外科の診断を受け、許可を得ること
 - (4) 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面にて事故報告を提出すること

16 諸連絡

- (1) 紅白帯は各校で用意すること
- (2) 持ち物・貴重品は各校で管理すること
- (3) 宿泊については当番校では取り扱いません。各校で手配すること
- (4) 男子は男子更衣室または会場内、女子は女子更衣室で着替えをすること
- (5) 試合当日は参加者で会場清拭を行う
- (6) 試合当日の校内入場口は生徒玄関からではありません。地図を見て、指示通りに入場すること
- (7) 参加申込後に選手の変更が生じた場合は、学校長が証明する団体試合選手変更届を提出し、監督・主将会議にはかり了承を得ること。この場合、選手の起用は補欠を優先する
- (8) 未登録の者・新入生については支部大会までに登録手続きをとることを条件に参加を了承する
- (9) 女子のTシャツは白の無地とする（白の半袖レオタードも可。いずれもマーク不可）
- (10) 大会出場選手はゼッケンをつけること。新入生に関しては支部大会までに間に合わせるよう努めること
- (11) 競技中の負傷・疾病などの応急処置はチームが行う
- (12) 引率責任者は当該学校の教員であること。また大会期間中は選手全ての行動に対して責任を負うこと
- (13) 会場の使用についてはマナーを守り、破損したり汚したりしないよう各校で十分注意すること
- (14) 昼食等は各自で用意すること。また飲食場所にも留意すること

17 その他

- (1) 駐輪場、駐車場ではトラブルが無いようにすること（施錠等）
- (2) 新入生に関してはゼッケンのないものも可とする
- (3) 柔道着に関しても、サイズの若干合わないものは支部大会までに間に合わせるように努めること
- (4) 大会当日は授業を行っています。立ち入り禁止場所に入らないようにすること